



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802

FAX (0263)51-1290

E-mail: sogokyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

目次

視学官、学力調査官、教育課程調査官を招いてのオンライン研修講座一覧	p.1
今年度の研修講座の様子（教科教育部・情報産業教育部）	p.2
<教育情報：教科教育>英語力を測定してみよう	p.3

今からでも申し込める！

文部科学省初等中等教育局視学官(2)、国立教育政策研究所学力調査官(1,3,5)／教育課程調査官(4,6,7)を講師に招いてのオンライン研修講座一覧

	講座番号	講座名	実施日	備考
1	3-1-01-23	小学校国語科 基本(オンライン)	9月15日(金)	午前半日
2	3-1-04-24	高校理科 基本Ⅰ(オンライン)	9月28日(木)	午前半日
3	3-1-03-35	中学校高校連携数学 基本Ⅱ(オンライン)	10月30日(月)	午前半日
4	3-1-08-25	中学校・高校美術 基本Ⅰ(オンライン)	10月30日(月)	午前半日
5	3-1-01-26	中学校国語科 基本(オンライン)	11月2日(木)	午前半日
6	3-1-02-42	小学校・中学校社会科 応用(オンライン)	11月17日(金)	午前半日
7	3-1-03-30	中学校数学 基本Ⅱ(オンライン)	11月20日(月)	午前半日

- オンラインでの開催のため、在勤校から研修講座を受講することができます。
- 内容・日程については、講座案内の当該講座のページ及び裏表紙をご覧ください。接続方法等の詳細は、別途、メール・ウェブサイトにて連絡します。
- 今年度の追加募集講座の申込期間は9月29日（金）までです。各講座の実施日の10日前までに申し込んでください。

※ここに記載されているオンライン講座以外にも、申し込みが可能な講座があります。当センターウェブサイト「研修／生徒実習」をご覧ください。こちらも申込期間は9月29日（金）までです。各講座の実施日の10日前までに申し込んでください。

今年度の研修講座の様子(教科教育部・情報産業教育部)

小学校国語科 基礎A・B ～楽しくて力の付く国語教室を目指して～ 6月15日(木)、29日(木)

講義、演習、実践発表、対話を通して、先生方が自己の実践を省察、再構成することで授業改善の視点を見出すことをゴールとした研修でした。併せて「国語の学習の楽しさとは何か」について、考え合いました。

同学年グループに分かれ、実践を紹介し合った後、講義、演習を行いました。

講義「ねらいを明確にした授業づくり」

見方・考え方 言語活動 学習指導要領

ねらいの明確化 学習の過程 ……

演習(学年別グループワーク)

単元づくり
学年ごとに同じ題材で

教科書を学ぶ → 教科書で学ぶ

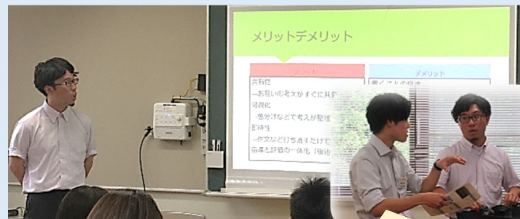


実践発表
「ねらいを明確にした
国語の授業づくり」

二つの発表から一つを選び、聞きました。その後、グループで語り合っ
て新たな気づきを共有し、自己の学びを深めました。



発表1: 豊丘南小 本田先生
発表学級で書かれたパンフレットを見て、語り合う

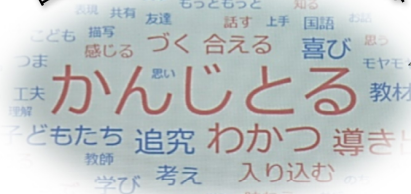


発表2: 川辺小 池田先生
ICT 端末の活用について 効果的な音読の方法について質問

受講者振り返り

・教科書を教え込もうと思ひ、ただ子供たちにやらせるだけになってしまっている。これでは、子供から楽しい・やりたいなどの主体性が引き出せないと思う。ちょっとしたことから子供が楽しいと思えるようにできればと思いました。

国語の学習の「楽しさ」とは



◆講座担当者の感想◆

受講者の多様な考えから、子供が主体的に題材と向き合い学び深める学習について、我々教師がそれぞれの立ち位置で考えることの大切さを改めて感じました。

産業教育 基本Ⅰ ～未来を創造する人材育成～

7月14日(金)

予測困難な時代を迎えるなか、社会が求める人材とは何か。

持続可能な社会を創造する人材の育成について企業経営者から学ぶとともに、受講者同士の対話を通じて「未来を創造する人材を育成するためにすべきこと」について、理解を深めました。

「明日からの実践」につながるヒントをたくさん得ることができました。

◆◆受講者のふりかえりから◆◆



課題発見と解決には、「問題の本質を見抜くこと」が大切であり、そのためには、時には自分の思考を疑うことが必要だと感じました。

生徒の「やる気」は、私たち教師の接し方によって大きく変わると感じました。結果主義にならず、過程に注目してあげることが、生徒の成長に大きく影響すると感じました。私自身も日々を振り返り、成長につなげていきたいと思います。



【印象に残った言葉】

・人から応援される人になろう
・人を変えることはできない、しかし、人は変わることはできる
・光を当てる場所を変える など



講義: 高校での学びで大切にしてもらいたいこと



研究協議の様子



センターHP、教育情報の中の「教科教育」に、外国語活動・外国語の情報として、**英語力を測定してみよう**があります。選択式の5～12問で構成された問題があり、短時間で答え合わせまですることができます。
生徒の英語力を把握し、指導に生かすために、ぜひご利用ください。

◆外国語活動・外国語

ここをクリック

外部リンク
英語力を測定してみよう

教科教育

「教科教育index」>
算数・数学>
理科>
音楽>
外国語活動・外国語（外部リンク）>
「総合的な学習の時間」に関する情報（実践事例）>
家庭学習情報室（家庭学習に関する情報）>

英語力を測定してみよう

授業で身につけた英語の力を試してみよう。
CEFR A1レベルの問題を用意してあります。
※問題はNET（長野県英語教育研究会）の協力のもと、作成されています。

英語力を測定してみよう ①
英語力を測定してみよう ②
英語力を測定してみよう ③

※このページにある問題は、NET の協力のもとに作成されたものです。なお、中学校で学習する範囲や領域すべてを網羅していないことをご承知おきください。また、測定した結果は、参考としてご判断ください。

こんなときに「英語力を測定してみよう」

日々の指導を振り返って

授業で言語活動を行っているけれど、生徒たちは、どのくらいの英語力を身に付けているのだろうか？



英語の調査項目の回答

中学校3年生で、*CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒は、本校にどのくらいいるだろうか？



*CEFR A1レベル

具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

（文部科学省「各資格・検定試験とCEFRとの対照表 附属資料①」より引用）